



7 月 号

平成 27 年 6 月 30 日

横浜市立東中田小学校

校長 芝 フク代

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>



## 自分の命を自分で守る力を育てる！

校長 芝 フク代

平成 27 年度と 28 年度の 2 年間、学校安全教育推進校を受けることになりました。

そこで、今年度は着衣水泳と地域防災訓練の在り方を少し工夫していきたいと考えています。

6 月 22 日（月）にプール開きを行い、今年度も子どもたちの大好きなプール学習が始まりました。例年、本校では 4 年生と 6 年生で着衣水泳を行っています。近年の水による事故死の原因や状況を調べて見ると、その 80% の人が着衣状態で事故に遭っていたり、泳げる人が水の犠牲になっていたりとすることも明らかになってきています。その原因は、水難に遭ってパニックを起し、正常な判断力や身体的調整力を失うためとされています。着衣水泳の最も重要な意義はここにあって、水難事故の疑似体験をもつことで、万が一の場合の心理的な構えをつくり、知識として着衣状態での水難状況に陥った場合の脱出方法や救助を待つまでの構えを訓練して、自分の命を自分で守ります。とても大切な訓練だと考えています。

最近こんなことがありました。5 月末の 14 時過ぎに起こった地震のときです。職員室



前の廊下を歩いていた子どもたちがすぐに職員室に飛び込んで来ました。「地震が起こったときはすぐに机の下に入ること。廊下や階段にいるときは近くの教室に入ること。」を毎月の避難訓練で行ってきたことの成果だと思います。訓練の大切さを実感しました。

そこで、今年度は 7 月 23 日（木）13 時 30 分から 15 時まで、1 年生とその保護者の方の希望者にも着衣水泳を実施することにしました。水辺活動の多い低学年の子どもが小さい時に着衣状況の体験をすることが大切ではないかと考えたからです。

### 【昨年度の着衣水泳の様子】

また、11 月 15 日（日）には、地域防災訓練が東中田小学校で行われます。昨年の地域防災には子どもたちの参加がとても少なく残念でした。今年はたくさん子どもたちにも参加してもらって「自分の命は自分で守る自助」と「地域の方々の協力で地域の人々の命をみんなで守る共助」の方法と意識を高めていきたいと考えています。そこで、中田消防出張所の協力を得て煙体験、水道局の協力で給水車の出動で飲料水の確保体験等も行おう予定です。たくさん子どもたちと保護者のみなさん、地域のみなさんの参加をお願いいたします。

学校安全は、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の 3 つの領域からなり、子どもたちが安全な学校生活を送る上でとても大切な教育だと考えています。保護者の方や地域の方々とともに子どもたちを守る体験や取組をこれからも取り入れ、学校で、家庭で、地域で自分の命は自分で守る力を育てていきたいと思っています。引き続き、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。